



卒園児から贈られた柿  
甘いかな？

# 12月号 トムソーヤ



園庭の桜も葉を落とし  
冬への準備中

平成29年11月20日発行

今年のカレンダーも残り少なくなり、せわしさを感じています。11月を「霜月」、12月を「師走」と昔の人は季節を趣のある言葉で呼んでいます。自然とともに生活してきたからこそその呼び方なのでしょう。子どもたちと一緒にうつりゆく季節をゆっくりと感じていきたいと思ひます。

## 12月の予定

### 園庭開放

12月21日（木） 10：00～11：30

日当たりの良い園庭で一緒に遊びましょう。先回の園庭開放には6組のお友だちが来てくれました。昨年ベビーマッサージに参加をしてくださったお子さんもいて、大きくなった姿が見られて嬉しかったです。園児と仲良しになり砂場で一緒にあそんでいるお友だちもいました。チャレンジできる遊具も人気です



事前申し込みはいりません

## 1月・2月の予定

1月12日（金）園庭開放

1月16日（火）給食体験

1月26日（金）園庭開放

2月16日（金）

ベビーマッサージ

先着6組

## 保育園の給食を食べたよ

11月15日に保育所体験（給食体験）があり、1歳のお友だち3人が参加をしてくれました。3人共に食べるのが大好きで「自分で！」と言いながらスプーンを上手に持ち、食べ始めから30分ほどでごちそうさま。たくさん食べられニコニコ顔でした。

次回は1月16日（火）です。1週間前までにお申し込み下さい。



- <献立>
- ・ふりかけごはん
  - ・かじきまぐろの竜田揚げ
  - ・ブロッコリーのおかか和え
  - ・油揚げと大根の味噌汁
  - ・りんご



ピッカピカ  
「ごちそうさまでした」



## 子育てのワンポイント



## 後追い

ハイハイやつかまり立ちができるようになる頃に始まる『後追い』。お母さんの姿がちょっと見えなくなるだけでも泣きながらどこまでも追いかけてくる。どこにいても追いかけてくるので、お母さん方からは「もう何もできず、どこにも行かれず困ってしまいます」という声を聞きます。この『後追い』は、「大好きなお母さんのそばに行きたい」という強い思いと、「おいていかないでよ～」という気持ちの表れなのでしょう。この時期の子どもたちには、「待っていればすぐに戻ってくる」という時間の見通しを持つことはまだ難しく出来ません。保育園でも、大好きな先生の立ち上がった姿が見えただけで泣き出す子もいます。そんな時は、「先生は〇〇してくるからね」と伝えてから離れ、戻った時には「待っていてくれてありがとう」と伝えるようにしています。そんな日常の繰り返りで、だんだんに「姿が見えなくてもどこかに行ってしまうのではなく後で自分のところに戻って来てくれるんだ」と思えるようになります。『後追い』は大変ですが、お子さんが成長していく上には、必要な道筋です。「ママが大好きだから仕方がないか」などと、どっしり構え待ってみてはどうでしょう。時期が過ぎればきっと待てるようになると思ひます。